



生ごみ水切り
部門

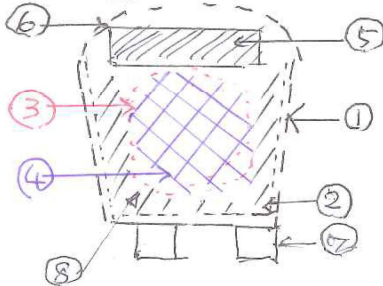
8

◇タイトル◇
「水無し後鉢」

アイデア提供者
近藤 幸海さん



1. 装置の仕組



⑧ 吸湿剤
(新聞紙、落葉、
シートモス等)

- ① 素焼きの植木鉢
又は穴の開いたプラスチック容器
- ② 防虫ネット
- ③ 水切りネット
- ④ 生ゴミ
- ⑤ 重し(レンガ、漬物用重し)
- ⑥ 金網のフタ
- ⑦ 通気性用スロース

アイデア

水切りの装置を作って、水切りを行う。装置は、まず、素焼きの植木鉢か穴の開いたプラスチック製の容器を用意し、内側に防虫ネットを広げ、その中に吸湿剤として新聞紙、シュレッダー紙、落ち葉やピートモス等を入れる。その上に水切りネットを広げ、生ごみを入れる。その後、上から重し(レンガ、漬物用重し)を置き、金網のフタをする。装置の底はレンガ等で通気性を確保する。

身近な吸湿剤で水分を減らせるし、吸湿剤は天日干しで水分を飛ばせば再利用が可能。特にアパートやビル住まいの人におすすめ。水切りネットで十分に絞ってからこの装置に入れるとより効果的。

メリット

ごみが軽くなり、ごみ出しが楽になる。



①



②



③
⑧



⑤
⑥